

奈良新聞 創刊記念企画

建設

Mission

～危機のとき 求められる創造と守るべき使命～

上武建設グループ 上武勝宣・代表取締役グループ会長

上武建設株式会社は昭和45年1月に創業し、今年50周年を迎えた。創業以来培われてきた技術力と最先端のICT技術を駆使し、安心して暮らせる地域や街の土台づくりを続ける。コロナ禍にあっても途切れることのない同社の取り組みを、創業者・上武勝宣グループ会長に語っていただいた。

創業50年技術で現場の視える化

「創業50年を迎えられましたね。」

上武 当社は、今年1月5日に創業50周年を迎えました。オイルショック、リーマンショック、そして先代が亡くなり、幾多もの逆境がありました。重機士

誠意 誠意
技術 欲実



工一筋で健全経営を貫いてまいりました。今回の新型コロナウイルスを乗り越え、大きく発展していきたいと考えます。また、お得意先、金融機関、協力会社、地域の皆様のご指導と創業以来、苦楽を共にした社員の方の賜物と感謝申し上げます。今後も初心を忘れ

ることなく創業以来培った技術力と最先端のICT技術を駆使し、現場の視(み)える化を実現することで作業の安全化、効率化を図り、お得意先様の要求に添えていけると考えます。特に、社内の対話や外部の研修を通して個々の意識向上を進め、いち早く実

ふるさと・暮らしを守ることに使命

感染予防の徹底 全社員に配慮を

「コロナ禍での取り組み



上武建設株式会社 本社

土工事もしていきま。社員においては、10年ごとを節目にそれぞれが課題を見つけ、2〜3年単位の具体的な目標をもち、そして自ら改革・改善を行うことで、地域、社会に貢献でき、企業価値を高めていけると考えます。

は。上武 当社は業務上、テレワーク等が困難な状況でもあり事務所内、および現場での手指の消毒、毎朝の検温、マスク着用の徹底、社員の日常生活に対するの注意事項を通知し、社内行事も縮小し、感染予防に努めてまいりました。全社員に対し、特別支援一時金や

就学児童のいる家庭には多方面にわたり配慮し、業務を推進してきました。また、奈良県や生駒市、地元自治会、医療機関等にマスクや消毒液など医療機器や対策費を寄贈し地域とも連携しながら取り組んでまいりました。

重機土工中心に地域社会へ貢献

「奈良の地で地域を支え続ける思いは。」

上武 今後、重機土工をメインに、それに付随する

地球にやさしく 未来につながる土台造り

Earth-friendly groundwork, Which will be sustained into the future.

おかげさまで創業50周年を迎えることができました。

上武建設は今後も初心を忘れることなく、創業以来培った技術力と最先端のICT技術を駆使し、新しい時代を切り開きます。



PC300i ICT建機



D65PXI ICT建機



エブリサイドローシ

KAMITAKE
上武建設グループ

<http://www.kamitakekensetsu.co.jp/>